

皆さんおはようございます。前日に引き続き、本日の会議を開きます。日程に基づきまして、市政事務に対する一般質問を続けます。日程から見まして、本日は、24番谷口議員の質問まで、終わりたいと思います。議事の進行については特にご協力をお願いいたします。また、執行後の答弁につきましても簡潔でかつ、的確な答弁をお願いいたします。それでは、23番黒岩議員の質問を許可いたします。ご登壇を求めます。23番黒岩議員。

黒岩議員／おはようございます。黒岩幸生でございます。

実は私今回若い人に道をゆずるということで、第1は出馬しないという意向を固めたところでございます。

振り返ると今から、39年前、昭和50年に初当選したわけですが、以来10回の選挙をたたかいました。

29歳に議員になったとき当時、川原議員のお父さん、亡くなられたイトウモトヤスさんのお父さんが議長をされてました。私の今日を作ったこの3方が、北方町の重鎮でございました。いずれも50代の半ばでそのとき29歳から見た北かた町議会ですが、やはり議員の定年は65ぐらいかなと感じていましたので、ここ1、2年、今回引退と決意をしたところです。

昨日、市長さんは65歳は、若いと話しをされてましたが、それは市長がよく言う上から目線ですね。29歳から見たときやはり65です。引退を致したいと思います。

今回は、色んな思い、今も39年前もかわらない。今回は今までの思いを振り返りながら質問という形にしていきたいと思います。重複あると思いますが、よろしくお願いします。

私の最初の質問は、先日というか、3年に、間もなく3年です。東日本大震災によりまして、紙文書が流出したと。市長はいち早く、公文書を電子化ということを、打ち出したのですが、現在その進捗状況はどのようになっているか、質問いたします。よろしくお願いします。

議長／宮下つながる部長

宮下つながる部長／おはようございます。

行政文書の進捗状況ですが、現在のところPDF化の進捗状況ですが、1700万枚程度と推計をしています。

今回は、このうち、平成24年度に作成した公文書、この1年で、約100万枚程度の文書だろうと推定していますが、この文書を対象にスキャニング作業をしています。3カ月かかりスキャンできたのは約5万枚。一年間このペースだと、20万枚、5分の1のスキャンの量、進捗状況について遅れている状況です。現在、機械が6台しかないので、そういうスピードになってますが、さらにスピードアップを図りたいと思っています。

議長／23番 黒岩議員

黒岩議員／電子かするためには、基礎ですのでいつときも早いですね、福島も3年目になるので、災害いつくるか分からないので大事なことになるので、頑張ってくださいと思います。

ただいまから2014年度の3月定例会の一般質問を初めたいと思います。

昔は御船山が武雄市だったのですが、議員として最後、住民の代表として最後としての一般質問を行います。3件質問してます。

第1が、世界一優秀な新日鉄溶融炉の運転について。

二つ目はパッセル、これを利用した、世界初の総合窓口システム作りについて。

3番目は、議会活動から見た道路問題ですが、3点について、通告してますが、しかし、昨日の一般質問で、岩手市長さんの話しの中で樋渡市長さんの話しで、事務の合理化は賛成、活性化につながると言う言葉がありましたので、この順序を入れ替えて一番目に、パッセル(特許)を利用した世界初総合窓口づくり、質問してまいります。

まず最初に、行政と民間の整理しておきたい。きのうもありましたが、私たちIT行政特別委員会で沖縄県のIT津梁パークにいて、勉強しましたが、それは沖縄県と企業が一緒になって作ってられた。これが、沖縄のIT津梁パークで、この中では敷地が20ヘクタール。特にITを推進、ITを中心としてこういう会議もうけたい。

ここですが、つまり沖縄県と、民間事業者がIT企業を育てるという考えかた。育てるより誘致するという考え方、上手に回ってこそ初めて誘致企業ができると。

私24年3月の定例議会で質問したのですが、仕事と発明、発想を一緒にして、さらにここに外部的支援。これがないと、起業が育たないとここで話しました。これが上手にまわり、はじめて企業が生まれる。つまり、さらに行政に、自然科学、機械的とか、いろんなこといれるという発想を3年ずっと質問しています。これは市役所の仕事。発想は、市議会がしている。いろんな提言してます。

企業で大事なものは、組織的支援がないとできない。

発明開発については、3年前とってのが、パッセルなんです。これは、ヤマザキ社長は、日本とアメリカで特許をとられたもの、これを使って、いつもいってますが、行政部門を何とかしていこうという話をしている。それに、外部的支援ですが、今、ユニシスさんが、このことについて注目をしている話をきいたところですね。

そこでお伺いですが、外部からの支援を感じた、私はそう思っているが、どのように思われるのか、お尋ね申し上げます。

議長／樋渡市長

樋渡市長／あたたかい目線を感じているので、あれなんです、CCCとカルチュア・コンビニエンス・クラブと図書館ということで、完全に官民連携でなく一緒にやっている、チー

ム武雄でやっている姿がでてきていて、こういう姿であれば、ここでは言えませんが、さまざまな企業、財団の皆さんが、武雄市とパートナーとして仕事したいと。

きのうの宮本議員の質問で、業者とは仕事をさせないとか、そういう意味でどん引きした。ですので、3歩進んで、3歩下がるかなという感じですが、武雄市が注目されているのは、事実なので、特にIT特別委員会が注目されている。その観点から見ると、武雄市が合併したときから見ると、隔世の感があると認識している。

議長／23番 黒岩議員

黒岩議員／つまり、大事なことは、民間企業と自治体のあり方。基本的な考え方は、あくまで官は民の補完的役割でないといけない。官僚は民量を圧迫してはならない。しかし、民を育てるのも官の仕事です。

沖縄IT津梁パークでは、沖縄に誘致企業では何が来ると思いますか。製造業きませんよね、そこで考えられているのが、IT産業の醸成なんですね。醸成というのは、雰囲気などを資源に創り出すことです。

会議室、こう言われました。ITの会議をうちでしてください、沖縄は気候がいいですよと。呼び込みなんです。そこでIT起業の育成で、起業、起こす業の支援。企てる方ではなく、起こす方が必要。

武雄市レモングラスの支援。これ見ておりましたが、これも醸成をされた。市が頑張って使って行って、手渡す、これが大事。当初は、1兆円産業まではいかなかった。しかし、山内のレモングラス、ティーハウス、きれいに作られていた。コーヒー飲んできましたが。しかし、あの時点で、どんなにハッキリしてるか分かん。レモングラスで、***になったかもしれません。確実に芽をふいたのは事実。北方町に誘致問題なんです。

ユウイチを造りたいと、屋根をつけるのかとか。つまり、朝一じゃなくてユウイチ。北方支所ですね、農協の。議員中で、喧々諤々(けんけんがくがく)ありまして。私が言ったのは、笑いながら言ったが、たかが2〜30万出してもよかろうもん。そのことによって市民が便利になるし、そして、それが大きくなって、税金を払うことになる、結果的に全会一致で補助金だすことになった。それは雇用の確保という現収アップなんですね。と言う考え方が大事なんですね。

大事なことは、どこまで支援するか。ということですが、起業、育成の手助け、行政。民間企業との距離感が必要です。市長はどのようにお考えか。

議長／樋渡市長

樋渡市長／レモングラスをたとえて言いますと、私は、7年前の一般質問におきまして、当時の明治政府の例を出して、官営八幡製鉄所。統計の取り方で数字が違うが、当時の国家

予算の10分の1～4分の1出している。国が100%支出して。

それで、一本立ちしてから、いまの新日鉄さんに、ごだいともあきさんという薩摩のセイショウの方に当然のように売却して、その時点で芽が大きく出た。種をまいて、苗になって、これは伸びていくぞといういった時点で、民間にわたすのが筋だと。

レモングラスが注目されているが、いいタイミングで、民間の方にお渡ししたと、次はそこから、民間の競争環境におかれて伸ばしていくと。

もし、私たちが、あの当時も、宮本議員とか、ヨシハラ議員さんから、さんざんな批判がありました。その中で、われわれが批判に負けていたらレモングラスはなかった。そこをご理解していただきたい。

やはり、一定程度成長した時点で、これは民間に渡すのが筋だと認識しています。

議長／23番 黒岩議員

黒岩議員／よく勘違いが、市長はいいますが、あるので。官は何でもできるという考え方から、抱えすぎ。みんな武士の商工でつぶしていく。ある程度育てるまで、どうしても民間の力がないときは、官がする。そういう発想が必要。

実は、1月23日、ホテル福岡、ホテルオークラに行って参りまして、セッションに参加してきました。テーマとして、移動しながら成功するビジネス、繋ぐ力(ちから)でビジネスを変えろというセッションがございました。ここには、日本ユニシス株式会社の社長さんが見えて挨拶された。

中央のモニターで、おそらくモニタで、と思ったら、本人が来て挨拶された、びっくりした。それは資本金54億円を超える、あるいは従業員4000名の社員を越える大きなところなんですね。三井製鉄所の会員でもある。

2年前にここに来られましたが、三井業者の目的は、三井グループにおいて利用者さんとの業際分野における出資診断の支出の機能を果たすこと。これで、こられました。

今回は、ユニシスのパートナーとして開かれた。情報技術、ITの最適な状態を提供しよう。ITを活用した事業を支援していこう、ITを活用し、社会基盤を提供していこうという話をなされていました。

同時に、総務省が、オープンデータの推進のためのデータカタログのための調査をしてここにさきほどいった、デイソフトの社長ヤマザキコウイチ社長とかユニセフさんなどと、合同にしてこういうことした。コキバライッタイ(?)の人材の場合には、オープンデータ活用が妥当だろうと。これが、実は、推奨されたんですね。

このことに対して武雄市もされていますが、このことに対して答弁を求めたいと思います。

議長／樋渡市長

樋渡市長／このヤマサキコウジさんという名前は総務省から1番聞くんですね。

武雄市で生活している者として誇らしいです。

武雄の面白いところは、武雄で活躍されている人というのは、よそで武雄の悪口を言うが、ヤマサキコウジさんだけじゃなくて、お名前はあえて挙げませんが、いろんな人の活躍は聞く。その非帯出性(?)とか、いずれにせよ誇らしいと思います。

議長／23番 黒岩議員

黒岩議員／先月に横浜に行ったんですね。横浜まちづくり委員会は樋渡市長を呼びたいと。私の親戚に樋渡といいますからね。武雄の樋渡と関係がありますかと言われた。

発音が悪くてすいません。

さきほどの、ユニシスのセッションにぜひ、樋渡市長を呼びたいと。

これまで役所の仕事で当然ですが、紙のやりとり、誓約書などを紐付けしないとけないのが実態。申込書等々、すべて、紐付けしなければならない。探すのが大変だ、ということです。

実は、24年11月11日と書いています。これも探すのに苦労しました。

12月に質問しましたが、行政文章請求したら誰でも閲覧可能ですが、武雄市として、来年度25年度から、樋渡市長が発表されたということですが、さらには公開された文書は開示できるものだけ、個人情報などが記載されているものはのぞきます。あたりまえです。

クラウドにおきますが、つまり東日本大震災では行政文書が流出した。離れた場所、2箇所に沖縄などに置いておく、というのが大切。

開示する方法、このクラウドはいつだったか調べた。一生懸命議事録を探すくらいしかなかった。

武雄市の定例会議事録ですが、もってきてここに広げないといかん、このまま広げていつて、しるしをつけて、線をつけて、24年の11月だったか、と議事録で分かるんですね。

これも、公文書で出てきたんですね。しかし、議事録が電子化されている。

そしたら、どのように探すかといえば、まず武雄市のホームページの中で、武雄市議会をクリックする。そうすれば武雄市に関することが出てきます。さらに、定例会、臨時会の日程議事録がでてきます。

いつまで収録しているかというところと26年度2月議会まで、ここがはじめですが、18年4月から、ここまではPDFされている。

それで、こここのところで武雄市議会議事録検索、ということで、書くところがあるんですが、ここに先ほど言ったクラウド、私の質問なので、ここに黒岩と入れて、この検索をクリックするんですね。これはグーグルのカスタマイズ、Yahoo!もあるんですよ。クリックしただけで、ただちにどんどん出るんですよ。きのうはでなかったんですね。でなかったこれで。だから、形式なところだけ、野次なんか出ませんので。開いていくと、

23 番 黒岩を探し出して、ここに印されている。こういうふうにてたんですね。わずか1分ですよ。

公開する文書はクラウドに保管されて、議事録は電子化そのものですね。このことについてどのように思われるか、これを通告していたのでぜひとも、その操作について、操作しながら説明して頂きたい。よろしくお願いします。

議長／宮下つながる部長

黒岩議員／キーワードをいいますが、「ほ乳類」でお願いします。

宮下つながる部長／モニタをお願いします。

これが武雄市のホームページのいわゆるトップページです。この中で、ジャンルが1番上にありますが、市政情報、これをクリックしていただくと、市政情報の中に、各種計画とか、市議会、予算などがこういうものが入っているよという形でてくる。

さらに、その中で、市議会をクリックしていただきますと、市議会のデータのページになる、と。

先ほど、議員さんから説明がありましたように、このページは合併後の議事録がデータベースとして保管されている。この議事録の下に、議事録検索という表題がついております。下をクリックしていただいて、カーソルをここに持ってくる。で、「ほ乳類」ですね。ということで、入れていただきまして、右のほうに「検索」というボタンがあるので、押しますと、ここに「ほ乳類」に関する、質問のリストが出ます。これで、アンダーバーがひいてある部分をクリックすると、その通りの質問の議事録がそのまま出てきます。

右の端に、3つちっちゃく、これですね。3本入っていますので、これを開きます。

ここに、詳細のケンシュウ機能があるらしいんですけど。切り取り…これになりますね。

これを押していただきまして、窓がでてきますので先ほどの…「ほ乳類」ということを入れまして、すると、このページの「ほ乳類」という単語がありますよというところ。

ここに飛んでいく、という機能がついています。

検索は非常に、早いということができるよう現在、議事録については、なってます。検索機能が大手のソフト会社のを使い市民の利便性向上につながると認識してる。

議長／23 番 黒岩議員

黒岩議員／今、説明があつた、私が言ったのはスピードなんですね。スピードと確実性

これが機械化によって、大きく変わると説明して頂きたかったのですが、ありがとうございます。

もうひとつ、ほ乳類、黒岩と入れると人が出てくる。実際の武雄市の議事録ですが、浪江

町の、小学校たちはこの図が示すように先ほどの、この図、その図、あの図ででてくる。これではわからん、しかし一般質問をしとったということで、ここに、タグをうつという考えかた。

タグを打ってうっとけば、どんな状態ででるかということ、荏野の小学校の子どもたちは、この図のような、歩いたと。小学校はこのあたりですね、丁度ね、そしてこの図面、つまり縦長にあり、高濃度の放射線、この図にタグをもってこれば、これが出てくる。

子どもたちこう歩いていたんですよ。150 mmシーベルトの中、歩いて行ったんです。

これが示すように、先ほどの図は、どこかわからんけど、タグうっとけば、ここから逃げるのに、この中を歩いたんですよ。子どもたちはここで、弁当、おにぎり、食べた。

同じ相馬町でも海の方に逃げる、あるいは南相馬市に逃げた、簡単に分かる話をしたが似たような話でチェルノブイリ避難所というのを、利用しましたが、これをチェックしてリンクできると。これとは少し違う、同じタグうちでも。ということを理解いただきたい。パネル保存ができる議事録作り、是非ともこれにとりくんで欲しい。

議長／樋渡市長

樋渡市長／もうあの、電子化の最大の意義は、保存と活用がしやすいことです。

例えば、写真、資料というのを、行うべきと思います。そうなったときに私は、本当に、紙の分厚い議事録を何十部も作らないといけない。それはやめですよ。その費用をかけるなら、こっちにかける。

ただし保存用で必要な場合は図書館なり議会なりに2部ぐらい、あとはすべからくネットで公開する。かつ、皆さんが利用しやすいと、私はできると思っています。

iPad で本読んでても、ほとんどの本にリンクがあって、地図とかあったらリンク飛べるんですよ、先ほど黒岩議員がおっしゃったように、それは世の中の趨勢(すうせい)だと。

議長／23 番 黒岩議員

黒岩議員／紙の、市長ね、議事録は断ってます。議会で。私のはいらないとのことで。

うちの座敷も昔は勉強部屋で、今はパソコン1つあればなんもない、変わっていきますが。先日、本題に入りますが、佐賀県がテレワーク推進、タブレット全台導入。場所えらばず、仕事はできる。

つまり行政サービスの向上めざす。行政サービスを目指すということ。場所を選ばずに仕事ができるということです。これイメージです。中を見ると、では町内市民サービスどうなってるのか。大きく、書いてます。非常にいいことですが、実際、転入、転出届け、出してみても分かるが、市民の皆さんは例えば年金問題であれば健康課に、子どもの医療、支援課、未来課、とずっといかんと。給食の申込と言えば、学校教育課、つまり市民がた

らい回し、されると。そして、各課で証明書とるけど、証明書もって隣の課に行ったり、それは無駄だと思います。

たらい回しされるという見方、そこでまず1つですが、1つですが、行政は市民のためというなら、庁舎内でのこのことに対して、どのように考えてるかお願いします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／必要だと思います。

議長／23 番黒岩議員

黒岩議員／ありがとうございました。不要になるように、是非ともしていただきたいと思います。

さらには、各課にありまして、市民は先ほど言ったように、実際、健康課いたり、税務課いたり、未来課にいたり、このように実際ちゃんと見れば、回されなくてすむ市民は。市民の皆さんが、各課を回される。これが実態ですよ。つまり市民の皆さんが例えば支援課にいきます。忙しいですね。未来課も、用事があればいいかな。税務課にも用事があれば、あるいは福祉課にも、行かないとならない。そういうことではなく、このところを、全て電子にする。そうすれば、市民の皆さんが窓口に来たときに、だまって座っていい顔ですね。この方が、ここをみんなですね、電子化することで全ては先ほどいった、場所を選ばずに仕事ができる。窓口で仕事ができるんですね。そうすれば、支援課、未来課、福祉課などすべてここで処理できるので、おじいちゃんはだまって座るだけ。

これが総合窓口じゃないかというのが言い続けてきたこと。繰り返しますけど、市民の皆さんが、真ん中にくる。あえて庁舎を木をつくったんですけども、こういう状態で、こういうことができないかと。庁舎は周り。各課は廻ってほしか。そういう発想を是非して欲しい。そのためにどうするか、木の根っこのほうから変えたらどうか。葉っぱから入ったら、回らないと行けないが、木の根元から、ここから行けば、ちゃんと総合窓口になり、各課できるのではないかという発想ですけども、これがワンストップ行政。

さらに、総合窓口、ワンストップ行政いろいろいいますが、すべて住民の要望が窓口に来ていくスタイルが先ほど言いましたが、係、係、いろいろいきますね。その後に課長さん、さらに部長さんとこいく。こういう状態で来てるんですね。現実。こうではなくて、部長、課長、係長、これは発想ですね。ということは、部長さんとこいくと課長さん、に。これをこのところですが、電子化すれば全てが、部長さんにいく。そうすれば、これが総合窓口になります。いまいったことが大成する。発想がなければできませんね。

まさにたらい回しされる市民と思ってください。

行政は市民のために、どのように思われるか、答弁をお願いします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／まあ、うちのところではなくて、おとうさんが亡くなられたとき息子さんがある市役所に来たとき、全く同じ話があつて。国保のところ行ったとき、さっき市民課で、証明書もってきてくれと、おかしいじゃないかということで、しかもその間すごいやっぱり忙しいじゃないですか、準備とか、40 分も 1 時間もとられた。二度とこの市役所には行かないと、税金も払いたくないぞと、私の知り合いだったので、来たのんですね。これ、武雄市の市役所の場合は、たらい回しをせざるをえない、今のシステムだと。でもちゃんとこうついてるってのは、限界があるので、これだけ、もう、先ほど黒岩議員が仰ったように電子化が進められてきたので、かならず一本化できます。かつ、今認証もできる。パって来た瞬間に、こういう姿だったら、これは、子育ての方ね、といったりとか、これは引っ越しされてきたのかなと、もう認証のところまでいきつつあるんですね。電子化というのは、いわゆる本当の意味の 3D 化。全体を認識できる。個人情報ではないんですけど。市民の待ち時間が減る。持っていく先は、アップルストアだと思います。レジすらない、来たお客に対して従業員が、そこに張り付いて、いらっしゃるところで、支払いまで終わってしまう、図書館のような居心地のいい空間で、待っていることが苦痛でない。おそらく、例えば黒岩議員さんは、いろんな手続きとられたと、ある職員が飛んできます、そしてきょうの御用向きはなんですかときいて、こうですと言うと、これなら 15 分待ってほしいというので、その間に全部すませると、これが行政の主流になると思いますので、で、チャレンジしたい。

議長／23 番 黒岩議員

黒岩議員／ありがとうございます。

先ほど言いましたように、議事録検索だけでもわずか 1 分でできるようにかわったんですね。これ電子化じゃないとできない話なので、お願いいたします。

実は、先ほど言いましたように、私、29 歳、若さフレッシュ、行動力と出ました。ちょうどそのときはマスモト町長さんも、市長さんみたいなその年代ですよ。いまもわかいですが、こういうことで出たんです。

そして、ほしいのは、ここなんですね、議会に新風を。やはり若い人たちの頭、私 29 でなったときは、未熟だったときは、3 人の重鎮がおった、しかし山口議員さんが、おまえも俺も 29 で、頑張れと言われて、今がある。そういう引き継ぎができるのをみなさん、若いでしょということを、訴えたんですけども、私が初心を忘れず議員として目指したのは、市民のための政治です。

古川議員さんが、この前、ワンストップ行政と話しをなされた。県民の皆さんのための県

庁があるし、たらい回しの***行政だと言われたと思われたんですよ。総合窓口の必要性いわれたと、それワンストップ行政だと思いますが、私も町民のみなさんのため、もっとも必要なものは、やはり総合窓口なんですね。これは、私が町民のみなさんが役場に来られたら、受付だけで済むように、すべてができるたらい回さない、行政。総合窓口の必要制を訴えた、20年前に。するとその当時の町長さんが、職員におらんということ

で、みごとに握った。机上の空論になる。そういう中で、3年前、それを解決したのが、パッセルなんですね。つまり、二次元の世界の中で3D検索するのがパッセルなんですね。パッセル(特許)とは何だと。デイソフトウェアの、代表取締役がつくられて、ヤマサキ社長が作った、日本アメリカの特許なんです。ほかに、システムとかね。これはアメリカ、これ日本。本を読むと、社内の案内ですが、フロー計算とか、マクロ計算、総合手続き、識別できるソフトですよと、会社の案内。さらには、さらにはパーソナルユースソフトの、垣根を取り払った新しい事業、ヤマサキ社長が生み出したソフトですと書いてる。分かん

ん。

まず、謝罪しておかんといけんところは、特許ですからね。これまで、利用すると言っているのは、ここで利用するのは、行政のこの一部ですから。パッセルはもちろん、無限大の可能性の中の、ごくわずか、一部の部分を使っているということで、私がいってるのはすべてパッセルではないということだけは、YouTubeで流れているので、謝罪しますが。

これはヤマザキ先生が2012年、IT委員会で書かれたもの。行政のためのオート化ということで、公表していただきました。これヤマサキ先生がつくった。紙をすべて高速回線に投げ込む、絶対必要なことはPDF化。そうすればオートタグがすべてをインデックスできますよと。つまり市役所の仕事はそのまますることによって、オートタグをうっていくと、そうすることがインデックスを育てることになる。

インデックスというのは、目的、情報を探すためやっていくのがインデックス。つまりみんなオートタグを、仕事をするのが、このくものすですね。みんなオートタグを育てるのが、つまり、その人その人のセットを、仕様書などを作っていきますよと。

インデックスを、おのおの作ったのが、係、係が、作っておけば、有意義に使える。つまり、ここにくもかいてるのは、蜘蛛の巣をつくって、どこでもいけるよ、ウェブをはるということです。そうすれば、さっきの議事録、聞かないけど、マニュアルがインデックスに載っている。あるいは、ようするに、たずねていく必要も必要ない。早い、ノーミス。一番市役所で大事なのはノーミスですよ。差し替えはいかんです。間違ったら謝って、訂正する、それは本人のためです。そういうことを起こさない。機械だから。数字をいれるだけで間違いを発見できます。電子化すればこういうことはなくなります。ということ

を習ったんですね。

パッセルは医療、製造業、研究機関、サービス業、いろいろ使われてる。クリティカルパスシステム。治療や介護など手順を標準化、診療の効率化、コスト削減に使われる。あるいは、部門別会計など。ユニシスさんから出されてる。2010年、佐賀大学医学部と一緒に

なって発表されている。

それとここが大事です。数千万円の初期投資がかからず。月各数万円で安い。つまり大きなコンピュータじゃなくても、大事な 1 部を抜き取って、そこをシステム化している。これがパッセルの特徴。今行ったように膨大のシステムがあります。スーパーコンピュータだったら出来るでしょうけど、小さな町のお医者さんでも、シンプルとして、構築できる。必要であればそれに付帯していくことができる。固定化しない、柔軟かいシステムということになります。パッセルというのは、必要な部分をシステム化したり、必要に応じて、付帯システムが追加できる。シンプルなシステムとして、必要な部分だけシステムに追加出来る。必要な部分をシンプルに、それに付帯して、これこそまさに、行政改革で不可欠だと思いますが、どのように考えか、答弁願います。

議長／樋渡市長

樋渡市長／基本的な方向性は同じ。あとは、実際に使う職員が、これが使って便利だと。まえより楽だと、日常的に体感しないと広がらないと思いますので、いったん使ってみるの大事だと思います。ただ、うちの職員も、例えばいろんな、オフィス系だったり、ＩＯＳとか目が肥えているので、です。それを上回る使いやすさがないと、広まりません。いずれにしても、まず、僕が使ってみます。ダメだったらもう広がらないということだと思いますので、そういう形かなと思っています。

議長／23 番 黒岩議員

議黒岩議員／機会ぶちこわし運動じゃないですが。何かをするときは、必ずそういうことがある。われわれ年代知ってると思いますが、計算機がでたときに、駅の切符を買うと、どういう現象なっただか市長さん知らんでしょ。

計算機をソロバンですることは、今頃はないですね。市長がいうように、誰でも出来るシステムでないといけない。それは心配ないです。

子ども手当、これも何回も言いましたが、どういうことをしているかというと、こういう順序です。少し違うかもですが、該当する、子どもがいる。所得制限をかけられる。さらに、処置を応じて、これがだいたいの資料です。こういう状態で、選別加算をしている。例えば最初、3 年ぐらい前にヤマグチ先生に言いましたが、子ども手当ですが、仕事の手順書を作る。そしたら、所帯の家族構成、所得、これが把握出来れば、自動的に、所得ができる。これは選別化させること。これが行政ナビという言葉で。まだ世に出ていない。カーナビとは違う。行政ナビどこが違うか。カーナビは目的地を決めます。目的地から、現在地をきめていく。行政ナビは、動脈と一緒に、静脈から心臓。血液は選別しながら目標に向かって行く。選別して未来に向かう。指先から心臓でなく、心臓から指先。これが行政

ナビということ。そう考えると、カーナビは偉いですね。行政ナビを作って、進化させることによって、マイソフトが出来ます。さらには、仕事の 1 部を支援するソフト。仕事を変わってもらおうと考え。先ほどの計算機と同じ。これがデイソフトになる。これも、24 年の 3 月議会でお話しましたが、家族構成で、所得判断ができればという話でしたが、これを 3D 表示すると話しました。三次元のまず、1 次元というのは、前と後ろからの敵を守る。2 次元は面なんです。横を守らないといけない。3 次元は立体で上から下まで守る。3 次元は縦横高さ、あらゆる方向から、敵が攻めてくるから守らないと行けない。ということは、あらゆる方向から、検索が出来る。紙の世界で 3D。実際、人間の世界で、これを 3×3 が 9、 3×2 が 6 と、立体的に計算するということ。XYZ で計算したら、立体的に計算。ここの後ろの、上から 3 番目にコマとして、18 と出る。3D 表示すれば、ここに 9 じゃなくて 18 がくるんです。2 次元の世界だが 18 がでる、つまり整理されたのが出る。そうすれば、家族構成がわかれば、機械いれてやれば、年齢の政策が出来る。所得把握できれば所得制限できる、それに、付加して掌握をだしていく。これが行政です。地域別、あるいは、これ簡単にできますね。簡単にかわるでしょ。プリンタをすれば通知書が、各家庭に届くということになる。今まで手仕事してきたが、少しずつ帰ればできないはずない。いっぺんに作ろうとすると間違ふ。一部変えればいい。オープンデータとパッセルの関係ですが、ヤマザキ先生が IT 委員会で説明いただいたのですが、まず、野菜は野菜たち、魚は、魚や、しかしスーパーマーケットにいけば、家具も売っている。これが買い物かごに肉を入れるんですよね、野菜を入れます、魚を入れますよね。これをオートタグで肉、野菜、そして魚というように、買い物セットとして、システムに記憶させるんですよ。そうすればこういうのは、鍋物セットということで、これを持っていけば、オートタグで、システムが記憶されてるので、持っていくだけで次は、2 個、というふうにオートタグでこれを探すことができる。こういう発想。さらにこのシステム、私は豆腐が欲しかったということであればこのシステムに豆腐を伝えさせることできる。あるいはレシピ、料理の本とした場合は、手法が違うので、誰が作ったとかいろいろある、そういう由来をこれに付け加えることが出来る。それがシンプルなシステムに付帯する発想です。買い物セットということで、直ちに動きます。これを、スーパーでなく、ここに基本情報をいれてる。そうすれば記憶されたシステム、これを、特許出願中の、電子システムを見れば、買い物セットということで、パッセルを使う、この 2 つを組み合わせ、パッセルがエンジンなら車のボディです。そういう状態。だからこの、パッセルにボディの代わり、例えば車輪の代わりに、キャタピラをつけ、それは戦車になる。電子システムに翼をつければ飛行機になる。そういうふうに、基本情報によってかわっていくんだと、これが行政ナビ。これを作ることでこのシステムを利用すれば全ての仕事に対応できることになる。そこで、転出届けや、デモをつくりますが課を特化して、デモを作成したい。これに力(ちから)を化して欲しい。総合窓口、武雄市からこれを使いたい。よそのシステムも注目してます、しかし武雄市出ないと意味がない。今のシステムを誰かが使うことができる、しかし武雄市から使う。行政

は、テレビは主人公です。タブーを恐れない。総合窓口、ぜひとも、デモを作る。仕事でなんか作って、できるという実証を、ぜひとも、発明はできるけど、実務が出来ないのでいかがでしょうか。

議長／樋渡市長

樋渡市長／私もともとタブーはありません、市民にとって、一番良いものを目指してきたのがこの8年であります。

今、370 ちょっとの、マニュアル作成してる。小さな自治体、市役所でも、そういうのがバラバラにやってきているので、今そのマニュアル見直しをしている。成功体験良いですね。デモはその中のいくつかを抽出し、デモというか、パイロットで、是非していきたいと。これ、IT 特別委員会にも入ってもらって、ある程度オープンの中でやる必要があると思ってますし、市民の協力が必要ですし、私も、賞味期限そろそろ切れるので、ここで約束するのはおかしいですが、その必要性は強く認識してます。

議長／23 番 黒岩議員

黒岩議員／総合窓口は、武雄からということでお願いします。

次に、世界一優秀な新日鉄溶解炉のことについて少し問題を質問したいと思います。考え方の変化が社会各地で起こってますが、昔はごみを焼却してる、焼いて捨てる。こういう話でございました。先日、県議会でもありましたが、ごみを焼却するという考えかたから、今日(こんにち)では発電のための資源、ごみでないですよ。資源です。だからよその国に買いにいくんです。ごみを買う馬鹿はいませんから。何の資源かという、発電といことはボイラーをわかし、それによってタービン回し、電気エネルギーとしてごみから回収をする発想。これが考えかたの変換。いずれ日本もなる。もったいないから。これは新日鉄のガス溶解炉、可燃ごみ、不燃ゴミ、いろんなごみをここから、ここから投入する。そうしますと、乾燥余熱、300～400 度、熱分解をすることでこれが、1000 度ですかね。普通ここまでなんです。燃やすとか焼くとか、ここでダイオキシンとか問題がある。1700 度も高い、1300 度とか。これに、溶融体をついている。焼くこと、1700～1800 度になるというものなんですね。これによって、大きく変わってくるのが、ゴミの収集法、監修がされる。焼却灰、直接溶かすんですから。1 回燃やして、その灰を燃やすが、高いですが、直接溶融すれば一番安い。環境に優しい、ダイオキシンをほとんど出しません。資源エネルギーの向上、1800 のスラブを作るので、全く違う以前持ってきたスラブと違うのができる。建設常任委員会で行って参りました、エコタウン保護ですね。ここで聞いた資料。0.1 ナノグラム、施設の保障地、これが半分、0.05 ナノグラム。さらに、測定値が出されていた。これダイオキシンというのは、繰り返しますが、自然界に存在しない。ベトちゃんド

クちゃんのように、遺伝子に傷をつける。人類がおかした最大の猛毒。だから、規制が厳しい。10億分の1、1mの四角に10億分の1。それが天文学的数字、ここですが、0.000034ナノまで落とすことができる。これは姫路の話です。やはり住民の皆さんは、敏感ですよ。これ22年8月24日ですが、紹介しました。最終処分場に関する陳情書を出したとき、行進表は平気で出さないのに、焼却段差の具体化と固定化をしなければいけない、決めたんですね。18年に原案を作ったんですが、とにかく完全廃止のために作った。スラム化が最適だと、そういうのを受けて、地権者の方ですが、ガラス質の溶融炉スラム(?)にしてほしいと陳情書を出された。このときの事務局の対応ですが、各担当課長様と書いて、20年の8月、どれだけか知りませんが、おそらく、まっすぐ出したと思いますが、当時の事務局は、こういうのは、受け付けないと言った。書類もなく、侵入者が、話し合いもせずに、人権侵害のことまで書いているんです。あえて先に消したが。そういう中で、直ちに出された。しかし、土地が取得できなければ建設はできなかった。だれも感じないと思った。そのときに10月に事務局長と行かれた、陳情者に会って、謝罪されたんです。なんとか作らせてくれ、あれがなかったら、ゴミ処理場はできなかったと、私はついて行って、話をしました。そういうことじゃないけんが、俺今度来るけんが、ぜひ、私を信用して、工事をされてくれんかということで、今進んでいる。今は、事務局も頑張ってこられてきている。これは、吉川議員が質問されたが、給食センターの話ですね。

いずれ、今よりも競争せんといいけんわけですから。そのときに給食センターと同じく、安く食べれるのは、スタッフの給料を下げた、これは意味がなかんわけですよ。

予算のうちでは組まないはずですよ。時給を下げんといかん。その予算のうちでは組まないですよ。市が予算を組んだんですね、入札されて、取るためには、下げていく、これは意味がない。入札のときも今の杵藤クリーンセンターに移動する。むしろ、賃金上げてやろうと、気持ちの温かさが欲しい。入札で、議会の杵藤クリーンにならないように、私も賞味期限決まっていますので、ぜひともここらへん調べて欲しい。

井戸水を呑むときには、井戸を掘った人のことを思い出せと。谷口議員さんが、やっぱり選挙前苦しいので、市民のために頑張ってください。手厚い共同開発が必要なんですね。市が答弁求めません。当選されたら、武雄をお願いします。道路改良の考え方、トップの考え方が変われば改良が進むと言うことで、

その前に国道34号線。カケアシ入り口ですね。左が呉服屋さん、フクヤ菓子さん。この部分、市長が力(ちから)でやっと、ここが改良できるようになった。

ここが市長の力(ちから)で、何十年もできなかった。

喜んでいる。ここは広ばなった。大変喜んでいます。しかし、いっこうに進まない。その後。進捗状況についてお伺いをいたします。

議長／森まちづくり部長

森まちづくり部長／モニターをお願いします。先ほど、議員さんがおっしゃられた通り、北方町、木之元東交差点のところの、入り口のところですが、この部分につきましては、長所で、自動車が信号待ちをすると、国道から入れないという実態がありまして、歩行者も家の軒下を歩いて、通学をしている。歩行者も軒下を歩いている状態で、非常に危険な交差点であったため、局部的な拡幅を行う。平成 25 年度に測量の調査を実施していて、保障の交渉のしておりまして、局部的に、地権者からは用地、保障の内諾をもらいまして、契約ができれば、平成 26 年度に工事に入る予定であります。

議長／23 番 黒岩議員

黒岩議員／私言っているのは、機が熟している。言ってもらって、自分ができなかった。気が変わることはないが、スピード、どこでも忙しい。スピードアップすることが、より、住民のみなさん方は安心しますし、怪我も少なくなりますし、再度、ぜひともあまり、抱えないというのが、私の率直な意見でございます。これは、毎度使いますが、国道 34 号線が、バイパスが大きく進展をしている。これも実は樋渡市長の力(ちから)で大きく変わった。これはコガ先生。逆光でうつとらん、でもこれしかなかったとですね。これも、じっくり、考えて欲しいんです。北方、一生懸命はあっち、こっちをされた平成 2 年の大水害から 20 年間出来なかった。どうしても出来ないという中で、市長さんが 11 月 12 日だったが、ついでについていった、そして小原(?)でコガ先生に会わせていただいて、私は鎮座することができた。あのとき、市長についていったと思ったけど、私のために連れて行ってくれた。そして先生と話して「わかった」言ってもらって、その後、呼ばれて、北方に平成 2 年か半年後ぐらいに、いえ違います。あの大水害は、どっかからの外水が流れてきて、ずっと、話をしてて国土交通省悪い、このとき電話かかってきてのが、このときなんですね。あのときの喜びは市長は嬉しかったと思うが、住民として私たちは***だからトップが動けば変わるということをぜひとも今後覚えていてほしい。これも、市長が良く言う、朝日第 2 保育園、ここの***困ってた。誰が手をつけても、出来ない。トップが行って、これも市長が行って、非常に、この方も喜んでいます。そして、中野の道路ですが、わずかにですが利用できない、いわゆる状況の中で、なかなかこれのできそうでできなかったところですね。

これ森部長。あなた率先して動いてもらって出来た。ここですね。

もう 1 つこれもですね、中野公民館いくところ。何十年もできなかった。向こう側に五十年来のつきあい、中原さん、非常に困っていた、しかし、ナカハラさんと市長と私と三位一体取り組んだ。何十年できなかったのが、今は広がった、できた。

これが実態です。だから、トップの考えがかわれば、改良が進む、是非とも再選されるでしょうけど、これを覚えていてほしい。ぜひともお願いしたいです。これは、一般質問を向こうから見た状態ですが、ここは、裏もみせられたらいいね。

市長さんね、8年間ありがとうございました。お礼を申し上げます。やっぱり老けたばい。やっぱ、29歳くらいからしたら、きのうも上田議員と話ししてたけど、やっぱり***。60は定年だろうと思います。皆さん方にも、議員のみなさんにも、執行の皆さんにも感謝を申し上げたい。立つ鳥跡を濁さずですね。立つ鳥跡を濁さず感謝を申し上げたいです。それから、39年になります。いろんな人たちに、お世話になっています。心からありがとうございましたということで、カメラに向かってお礼を申し上げたいと思います。一番から26番議員さんも。***つよかと思いますので、ぜひとも再選して、武雄市のため頑張っていたきたいと思います。

市長さん、あと1分ありますので、私に対して何かあればさっきのこと含めてお願いします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／最初、私は黒岩議員さんとは仲が悪かった。ただ、病院の民間移譲はほんとに黒岩幸生議員なくしてはできなかった、と本当に思っています。イトウさんとは仲が悪かった。このひと引き合わせたのも黒岩さん。ヤマグチさんも引き合わせたのも黒岩さん。私は人間的、尊敬はしていますが、それ以上に武雄市にとって、8年間で、よちよち歩きだったときに、新武雄市病院も図書館も、感謝のことば以外ないですね。長くなりますが、これからも、私の矢となり、盾となり。この先、50年ぐらいあると思いますので頑張ってください。以上です。ありがとうございました。

黒岩議員／どうもありがとうございました。

議長／以上で、23番黒岩議員の質問を終了させていただきます。